

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場における
保存温度を超過したワクチンの使用について

1 概要

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場である瀬谷スポーツセンター（瀬谷区）において、ワクチンを保管する冷蔵庫内で常温となった状態のワクチンを、119名に接種していたことが判明しました。

対象者119名に対し、状況及び今後の対応についてご説明する文書を本日中にお送りします。

常温で保存されたワクチンを接種した場合、新型コロナウイルスに対する十分な抗体が生成されない可能性があるため、対象者全員について、今後抗体検査を行い、体内に十分な量の抗体が生成されているか確認します。抗体が確認できない場合には、再度ワクチン接種を行います。

接種いただいた方に深くお詫び申し上げます。

2 経過

5月26日

夕刻

冷凍庫から翌日使用予定のワクチン60バイアル（ワクチンが封入された小瓶）を冷蔵庫に移動し、当日の未使用分1バイアルとともに格納

5月27日

8時30分

市職員が、薬剤師Aとともに冷蔵庫内の61バイアルの数量確認を行う
その後、薬剤師Aがワクチンを取り出し、希釈作業を行う

10時30分

薬剤師Bが、追加のワクチンを取り出すため冷蔵庫を開けた際に、庫内が冷えていないことに気が付き、電源プラグがコンセントから抜けかかっている状況が確認される

10時40分頃

冷蔵庫内の温度記録計を確認したところ、前日夕方16時半ごろから冷蔵庫内の温度が上昇していたことが判明

11時03分

接種を中断（この時点で119名接種済み）

12時15分

新たに冷凍庫から出したワクチンを希釈し、接種再開

16時15分

ワクチン接種終了（再開後238名接種、計357名接種）

保存温度を超過した未使用のワクチン41バイアル分は廃棄

3 原因

ワクチンを保管する冷蔵庫については2℃～8℃の庫内温度が保たれる必要があります。

5月27日8時30分の時点で、冷蔵庫の稼働状況を市職員が確認することになっていましたが、今回は電源プラグの状況確認を怠っていました。

4 再発防止策

集団接種全会場（全区19か所）で、電源プラグの接続状況を点検しました。

接種日当日には、冷蔵庫の稼働状況の確認を複数の職員で行うことを徹底するとともに、日中定期的に冷蔵庫及び冷凍庫の温度確認を行い、記録することとします。

お問合せ先

健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長 松崎 善夫 Tel 045-671-4906